

# メタセコイア

2022.1  
Vol.56

- も く じ -

- 2 年頭のあいさつ  
病院長 近藤 丘
- 3 親子のこころ外来のご紹介
- 4 がん術後地域連携パスのご案内
- 5 消化器内科WEB予約導入システム 準備中
- 6 オンラインセミナー開講中!



病院長  
こん どう たかし  
近藤 丘

## 年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2016年4月に東北医科薬科大学として医学部を新設して迎えた1期生が、今年3月にいよいよ旅立ちを迎えることとなります。また、卒業生を送り出すことで医学部としての完成ということにもなる記念すべき年を迎えたと言えます。振り返りますと、医学部設置までは病床数466床で80人ほどの医師数であった病院が、この6年間で600床まで病床数を増やし、医師数も教員・専攻医・研修医を合わせて250人ほどにまで増やしてまいりました。診療科数も21から33に増え、救急機能や検査機能の強化、施設の改修や設備の増強、そしてより高度な医療の実践にも対応できる体制の整備などにより、外来患者数、救急車受け入れ数、入院患者数、手術件数などなど、あらゆる面で病院機能を向上させることができました。これもひとえに地域医療を担う登録医の皆様の日頃のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。加えて、大学病院としては自らの病院の機能向上ばかりではなく、これを地域医療に還元することを通して地域医療に貢献していく責務があることは申し上げるまでもありません。医師数が増えたとは言え一般的な同規模の大学病院と比較してまだ半分程度の医師数であることからまだまだ大学病院としての力は十分とは言えませんが、地域への人材の派遣を通して多少なりとも地域医療に貢献できる力を備えつつあるものと思っております。

一方、新型コロナウイルス感染症が蔓延し始めてから2年を経過しますが、まだ成長途上の病院でありますため十分とは言えないまでも、県内2つの大学病院の一つとして本院もその診療に力を尽くしてまいりました。とくに県内では2つの大学病院でしか実施できない重症患者に対するECMOを導入した治療により多くの患者を救命でき、地域医療へ大きな貢献ができたものと自負しています。

また、この3月に卒業を迎える1期生は4年次の臨床実習が始まって間もなく新型コロナウイルス感染症の勃発に見舞われ、十分とは言えない不自由な教育環境下での臨床実習を強いられました。ただ、こういった苦難は医学生にとってある意味貴重な経験であったとも言え、これを乗り越えてきたことは地域医療を支えていく医師としての今後の成長に大きな力となるのではないかと考えます。医学生と同様に病院としてもこの2年間の経験から多くの貴重なことを学び取ることができました。これをさらなるバネにして一層の地域医療への貢献ができるように体制を強化し、成長をしてまいりたいと思いますので、本年も登録医の皆様には倍旧のご支援をいただきますよう、よろしく願いを申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



精神科  
福地 成

## 親子のこころ外来のご紹介

平素より当院の地域医療連携にご理解とご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。2021年4月より当院精神科において、「親子のこころ外来 [https://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/outpatient/special\\_outpatient.html](https://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/outpatient/special_outpatient.html)」を開設いたしました。この場をお借りして、本専門外来の紹介をさせていただきます。

まず、わたくし福地の略歴を紹介させていただきます。2001年に弘前大学を卒業し、市中の病院や子どもの発達を専門とする診療所でおよそ5年間、小児科医として勤務をしました。宮城県へ移動してからは精神科へ転科し、精神科救急や東北で初めての児童精神科病棟の設立に携わりました。そして、東日本大震災の復興に特化した事業におよそ10年間携わり、2021年の4月より当院へ赴任いたしました。2013年には東北大学大学院を修了し、公衆衛生学講座にて自殺の疫学を研究しておりました。

親子のこころ外来は火曜日に開設しています。原則予約制であり、午前中に1～2件の新患をお受けして、午後は再来の診療をしております。当院の精神科外来へお電話いただき、本外来を受診希望であることをお伝えください。年齢は15歳(中学3年生)までとさせていただきますが、初診時に15歳以下であれば、その後は高校を卒業する程度まで原則診療を継続しています。ホームページには問診票が掲載されており、事前にダウンロードしていただき、初診時にお持ちいただくと診察がスムーズです。

主な対象疾患は自閉スペクトラム症や注意欠如・多動症(ADHD)をはじめとする発達障害、さまざまなストレスによる不登校、思春期特有の対人不安などの不安症、抜毛やチックなどの習癖の問題など多岐にわたります。また、メンタルヘルスの課題を抱えた妊産婦さん、自分が虐待をしてしまうのではないかと不安を感じる保護者さんの相談もお受けしています。面接や心理評価を行い、プレイセラピーや認知行動療法等を用いて診療しています。

日本では、子どものこころの診療(児童精神科)を専門とする医師が500名に満たないと言われております。そのため、県内でも専門外来を開設している医療機関は限られています。できるだけ待機期間を短くして、地域のニーズにお応えできるように診療しております。お気軽にご相談ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



### 親子のこころ外来

[https://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/outpatient/special\\_outpatient.html](https://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/outpatient/special_outpatient.html)



# がん術後地域連携パスのご案内

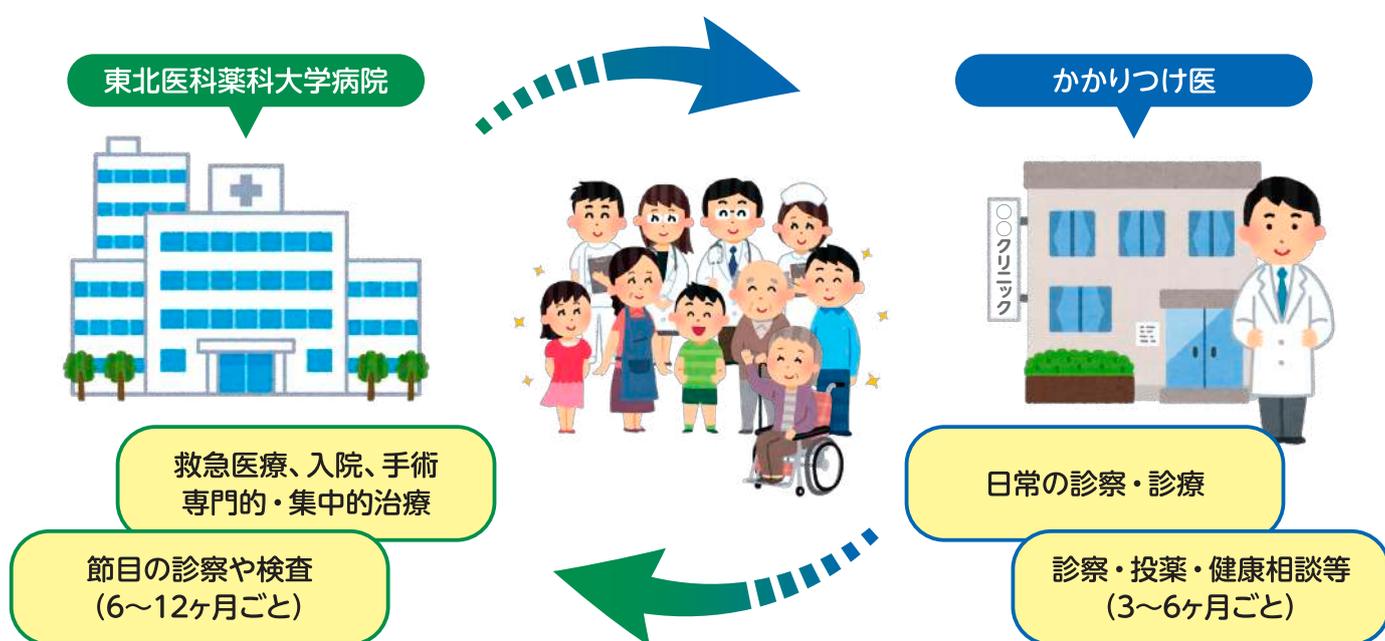
当院は、2021年4月より「がん診療連携拠点病院」に認定されました。

当院では、地域の医療機関(かかりつけ医)と役割分担を行い、それぞれの医療機関が特徴に応じた機能を活かし、病気の診断や治療、健康相談等を行いながら、連携・協力し合って、患者さんに切れ目のない医療を提供したいと考えており「がん術後地域連携パス」の運用を開始します。

特に、5大がん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん)と前立腺癌の連携パスを考えており2022年2月1日より肺がんから開始します。

連携パスはがん診療拠点病院が地域の医療機関と連携し、切れ目のないがん医療を提供するツールです。具体的には患者さんから同意を得た上で、「私のカルテ」という当院が作成した冊子を使用し診療連携を進めてまいります。これにより医療機関間の連携を図ることができ、患者さん自身も今後の治療計画が理解しやすくなる利点があります。

今後当院では、連携パスの運用にご賛同いただける医療機関を募り準備を進めてまいりますので、登録医の先生方にはご協力をお願い申し上げます。



## 運用方法

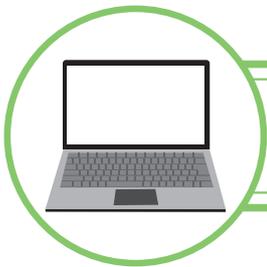
がん術後は再発を予防することを目的に、東北医科薬科大学病院とかかりつけ医で治療及び経過観察をしていきます。

東北医科薬科大学病院退院後(または退院後の初回受診後)は、かかりつけ医を3~6ヶ月ごとに受診していただきます。

東北医科薬科大学病院には、6~12ヶ月ごとに受診していただき、節目の診察や検査を実施します。

## 診療報酬について (連携医療機関)

パス適応患者が連携医療機関を受診した際、患者の同意を得た上で『がん地域連携パス診療情報提供書(経過報告書)』を東北医科薬科大学病院へ情報を提供した場合に、月1回に限り『がん治療連携指導料(300点)』を算定できます。ただし、診療情報提供料(I)の費用はこれに含まれるため別に算定することはできません。



# 消化器内科 WEB 予約システム導入準備中

日頃より、当院にご紹介いただき感謝申し上げます。

当院では消化器内科受診の待ち時間短縮のため、新しくWEB予約システムを準備中です。

現在、当院消化器内科受診の仕方は3パターンあります。

- ① 受診受付時間内に直接来院する 受付時間 8:30 ~ 11:30
- ② 予約をFAXにて連携室に申し込む
- ③ 患者さんご自身から電話で予約が取れる

今後はさらに、富士フィルムメディカル株式会社のシステムを利用し、WEB予約システムを導入します。

先生方に運用費用は一切かかりません。

ネット環境が整ってるパソコンひとつあれば予約が可能です。

検査・診察枠の「空き枠」情報が一目で把握できますので、診察中に患者さんと希望日の予約が可能です。

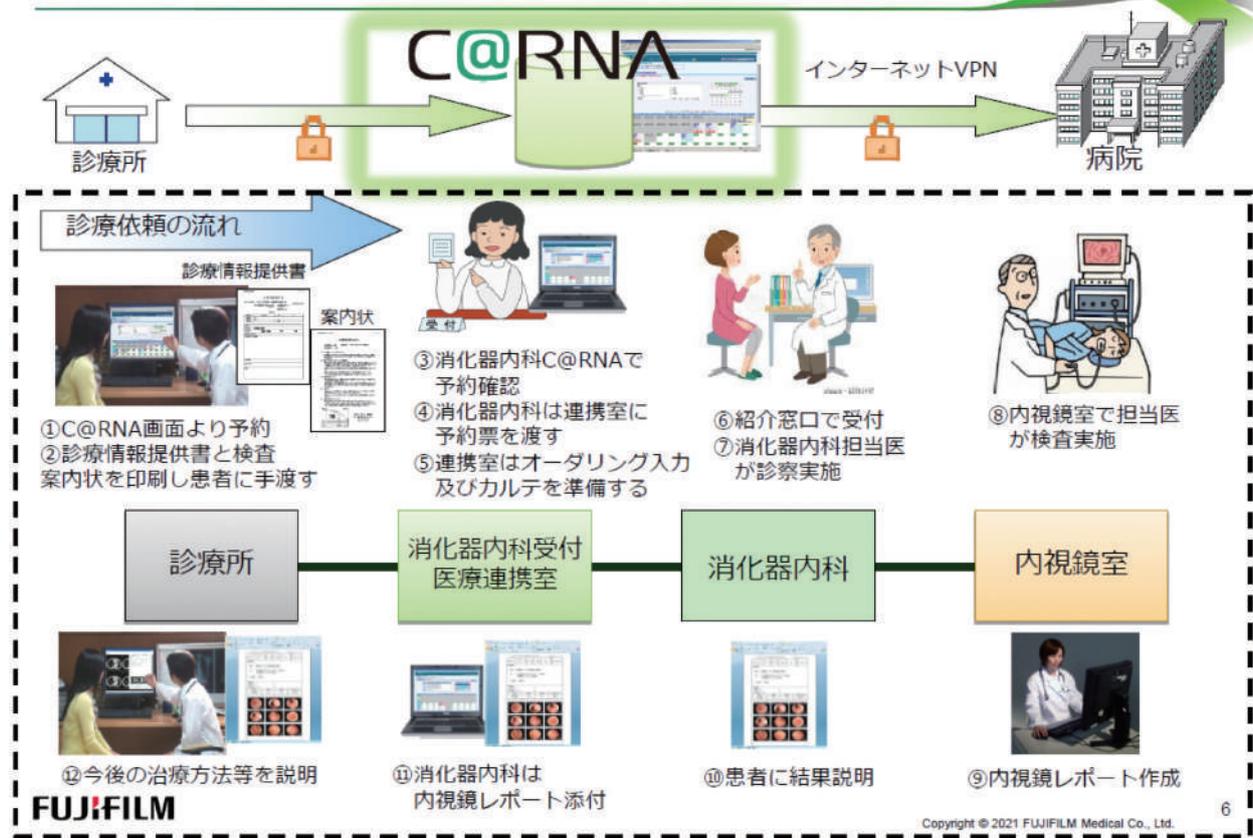
連携室の予約受付時間外でも365日予約が取れます。

お返事や検査結果もシステム内で確認ができます。

予約は、診察枠の他、検査枠として上部内視鏡、腹部エコーが可能です。

ただし検査枠のみの予約はできません。

## システムを利用し予約を取る場合 (現在準備段階のため仮の運用方法です)



当院のシステム準備が整いしだいWEB予約システムを希望する医療機関を募りますので少々お待ちください。これからも先生方が簡単に紹介できるようなシステムを考えてまいりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

# オンラインセミナー 開講中

2021年12月8日～

 **YouTube** にて好評配信中 !!

## セミナー内容

### 「がんの予防」

講師

下平 秀樹

腫瘍内科科長・外来化学療法センター長

## 今後の配信予定

2月～

がん化学療法看護認定看護師 佐藤 みほ

テーマ 「チームで支えるがんの薬物療法」

4月～

消化器内科医師 福士 大介

テーマ 「胃がん検診の大切さ」

今後も続々配信予定です。  
お楽しみに!!

視聴  
方法

インターネット接続端末にて  
右のQRコードよりアクセスしてください。



検索  
方法

東北医科薬科大学病院 YouTube



URL : [https://youtu.be/2QeIShfE\\_s8](https://youtu.be/2QeIShfE_s8)